

令和元年度 静岡大成高等学校 学校評価書

評価対象	評価項目	具体的取り組み	自己評価		学校関係者評価委員会	
			評価点	学校としての反省と改善策	評価点	意見
①人権尊重の立場に立った教育の実践	一人一人の存在や思いが大切にされる環境づくり	生徒の主体的活動を支援しつつ、生徒間の穏やかな人間関係作り、思いやりの心、助け合うことの大切さを養う。	B	生徒主体に話し合う場面を作っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の目からは人間関係にトラブルがあったように見えなくても、本人はいじめられていると思ひ込むケースが考えられるので注意が必要である。 ・教員は、入学した生徒は必ず卒業させるんだという強い思いをもって指導に当たっていることが感じられる。
	安心して過ごせる学校・教室。いじめ防止を徹底する	明るい雰囲気づくりを心掛けると共に掲示物やホワイトボードなどの張り紙や書き込みには注意し、いじめに繋がる要因を見逃さない。	A	生徒間の有効な人間関係が概ね作られている。		
②「わかる授業」「楽しい授業」「身につく授業」の実践	「わからなければ楽しくない、楽しくなければ身につかない」を意識し、授業の工夫・改善に取り組む。	「わからなければ楽しくない、楽しくなければ身につかない」を意識し、授業の工夫・改善に取り組む。	A	丁寧な授業展開を心掛けている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器を十分に活用できていないケースが見受けられるので、授業へのより一層の取り組みが必要である。 ・2Pノートで家庭学習の習慣を身につけさせる取り組みに力を注いでいるが、ただ提出するだけで終わってしまっている生徒もいるため、何らかの働きかけが必要と思われる。 ・朝読書は、何を讀んだらいいのかわからない生徒もいるため、生徒の自主性を育てることが必要である。
	多様な生徒に対応するために常に自己研鑽に励み、指導法や授業形態の改善をし、学習支援や満足度の高い進路支援に繋げる	学業不振者の支援と共に学力の高い生徒の支援も心掛け、満足度の高い授業を工夫し、進路指導の充実を図る。	A	生徒の学力にあった授業を進めている。		
	ALやICT機器、その他の教材を活用し、主体的、対話的で深い学びに繋がる21世紀型授業に積極的に取り組む	ALやICT機器を活用し双方向を意識した授業に取り組み、学習内容を深め、学習意欲の向上につなげる。	A	プロジェクターを使った授業が増え、生徒同士で話し合わせる授業も実施している。		
	教科・学年間の連絡を密にとり、教務内規に従った業務を遂行する	教務内規に沿った指導、教科間、学年間での評価の平等性を徹底する。評価方法等にミスが無いよう細心の注意を払う。	A	チェック体制の徹底を図っている。		
	2Pノートや各教科の課題の出し方を工夫し、家庭学習の習慣化を図る。	基礎学力の定着、学習習慣や自学自習力を養う手助けをする。	B	学習の点検と確実な実施のため、学年としても取り組んだが、習慣化には時間がかかる。		
	朝読書・マナトレ・小論文の充実した取り組みを進める	それぞれの目的を共有し、共に満足感や充実感を持った取り組みとなるよう努める。	B	毎日の積み重ねが一定の結果を出している。より多くの生徒が自主的に取り組むことが課題。		
③生徒理解を基盤とした、きめ細やかな生徒指導の実践	基本的な生活習慣及び規律ある生活態度（挨拶の励行、時間厳守、身なりの端正化）を養う。	場に応じた挨拶や対応・品位ある服装、立ち居振る舞いを心掛けることの出来る生徒の育成	A	普段から心掛けて行動する生徒は増えている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年、生徒指導を受ける生徒が減ってきているが、自転車通学者で車との接触事故があった。大事故ではなかったが、指導を充分する必要がある。 ・ネット依存度チェックを生徒全員に行っているのので、その結果を受けて、生徒への指導や保護者への協力をお願いしたい。 ・男子バスケットボール部の活躍が楽しみであるが、新型コロナウイルスの影響で部活動も満足に活動できず残念である。
	交通安全を心掛け、登下校時のマナーや事故防止を徹底させる	登下校時の交通マナー・歩行者や周囲の人々に迷惑を掛けない思いやりを持った生徒を育てる	A	大きな事故は無かったが、若干の苦情をいただくこともあった。		
	授業規律を整え落ち着いた、けじめある学びの環境を作り、問題行動を未然に防ぐ	落ち着いたけじめある学びの環境を整える。チャイムで始まる授業、ロッカー、机上、身の回りの整理整頓などに注意を払う	A	授業前に教室に入ることは日常確認している。		
	SNSやLINEなどを利用した情報伝達方法のマナー指導を徹底する	スマホ依存に陥らない指導と情報伝達時のマナー指導を心掛け、いじめや不登校・遅刻欠席・学業不振に繋がらない早めの指導を心掛ける	B	全体や個々への指導はしているが、生徒自身の利用を把握することはできない。		

評価の基準 A 達成できた B おおむね達成できた C あまり達成できなかった D ほとんど達成できなかった

③生徒理解を基盤とした、きめ細やかな生徒指導の実践	行事・部活動・ボランティア活動などに積極的に参加させ、主体性を養い、多様性を受け止め、協調性やコミュニケーション力豊かな生徒を育てる	心技体のバランスの取れた生徒の育成を心掛け、生徒との関りやコミュニケーションを密にして、主体性を育てる。	A	目的を持ってそれぞれの活動に取り組ませている。		
④きめ細かな進路指導の実践	第一学年は生涯計画やキャリア教育のもと、社会の変化に応じた幅広い進路を意識させ、適性や希望が最大限生かせる進路実現に向けて計画的な取り組みを促す	3年間の進路指導計画の下に進路相談を充実させる。生徒の個性や適性を生かした進路目標を設定させ、実現に向けた具体的な取り組みを支援する	A	1年次の段階での進路希望を持たせることができた。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオの有効活用への取り組みや大学入試改革への対応をお願いしたい。 ・横浜薬科大学と提携を結んだことにより、薬学部を希望する生徒の選択肢が増えた。大成中学からの進学者の増加も期待がもてる。
	第二学年は外部の進路説明会やオープンキャンパス、企業説明会等への積極的な参加を促し、進路目標を明確化させ、その実現に向けた指導をする	進路意識の向上のため、見学会等に進んで参加させ、最新の情報を基に、計画的な取り組みを促し、希望進路の実現へつなげる	A	進路ガイダンスやインターンシップへ積極的に参加させ進路意識を高めている。		
	第三学年は目標達成のため、最大限の能力を発揮させ、進路実現・自己実現を図る	十分な面接や指導を繰り返す中で、親子ともども納得できる進路決定を目指す	A	ほぼ進路は確定できている。安全な進路に進む生徒が多い傾向にある。		
	ポートフォリオの充実や「大学入学共通テスト」などに必要な資格取得に向けた計画的な検定受験への取り組み	高校生活の充実が求められるポートフォリオが進路決定時に生かせるよう、計画的な取り組みを生徒へ促す	B	ポートフォリオを使った振り返りの蓄積を始めている。有効に活用できているかどうかは今後の結果に表れる。		
	多面的・総合的な学習の下で評価される新たな「共通テスト」の導入に向け、教育内容や入学試験制度を生徒・教員に周知徹底させる	新入試の傾向や取り組みを、把握すると共に、教科・分掌・学年で検討し合い、新テストに対応できる生徒を育てる。	B	大学入試改革の先行きが見えない事態になり、準備したことが順調に進んでいる状況になっていない。		
⑤時代の進展に対応した教育内容の実践	校内外の研修会・研究授業・公開授業に積極的に取り組み、全教員が研修をつみ、ICT 機器や教材を積極的に利用した新しい時代の教育を目指す	研究授業・公開授業や外部研修に参加し、得られた情報を共有し、教員の指導力の向上、授業力強化に繋げる	B	研究授業期間を利用した授業参観等は実施できたが、日常的に他教員の授業を見る時間は限られている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・かつては座学が中心であったが、今はアクティブラーニングなど積極的に意見を言い合う授業が求められている。時代の変化に対応できるよう教員の資質向上に取り組んでほしい。 ・今年度は、4月から6月までの3か月間、オーストラリアからの留学生を受け入れた。今後も継続していきたい。
	社会変化に伴う教育の変化を受け止め、新たな学習課題に向けての検討を教科内で進める	情報の急速な発展の中で、新教育課程を見据えた授業展開と共に、時代に即した本校独自の情報教育を検討し、教育に生かす	B	新教育課程がまだ出てきていない状況であるため、来年度の課題である。		
	国際理解教育を進めるため、あらゆる教育活動の中において、グローバルな視点に立って物を考える生徒の育成に努める	海外修学旅行やホームステイ、留学生の受け入れなど、異文化を体験できる機会をとらえ、多様なものの見方考え方のできる、視野の広い生徒を育てる。	B	オーストラリアからの留学生を迎えることができた。今後の国際交流の第一歩としていきたい。		
⑥家庭・地域に信頼される開かれた学校づくりへの取り組み	ホームページやきずなネットなどを利用し、保護者・生徒・学校をつなぐ情報を積極的かつ効果的に配信し、本校の教育理解を深める	広報活動は全職員で取り組み、本校発展に繋がる魅力をホームページやチラシを利用して広く発信する。保護者対応、受験者対応には特に注意を払う	B	本校の学校説明会に参加した生徒・保護者からの、本校生徒・教員への印象はおおむね良好であるが、日常的な広報発信が課題である。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・他校に比べてPTA行事が多いが、役員だけのものと思われがちになっており、保護者への声掛けが必要であると感じている。 ・バルーンバレーボール大会に地域の方を招待して

評価の基準 A 達成できた B おおむね達成できた C あまり達成できなかった D ほとんど達成できなかった

	PTA 行事・地域交流・学習会などに参加し、保護者や地域の人々の本校理解に繋げる	保護者や地域の方々とのつながりをスムーズにし、教育方針の理解をより深める	B	部活動を中心とした奉仕作業を始めた。生徒の意識の向上になった。PTA 活動への教員の参加が少ないことが課題である。		PTAと地域の方との交流の機会を設けてもよいのではないか。
⑦安心安全な教育環境の整備と安全教育の充実	施設設備や防災器具の定期的な点検を実施し、安心して過ごせる環境作りに励む	生徒の安全を常に意識し、設備や防災器具の点検を定期的に行い、事故のない環境づくりをする。	B	既定の保守点検等は確実にやっている。生徒の予想外の行動によるけががあったため今後さらに危険防止対策が必要である。	B	・今年度は、校舎2階ステューデントホールの柵を修理するなど安全対策に努めているが、校舎完成後、15年経過し、修理が必要な箇所が増えてきているため、より一層安全対策に努めてほしい。
	地震や災害時を含めた危機対応の体制を理解し、効果的な訓練を通し、安心安全を高める	災害時だけでなく常に安全を意識した環境づくりを心掛ける。非常時に適確な行動がとれるよう実際に即した避難訓練に取り組む	A	防災訓練における生徒の避難状況は、短時間でスムーズに行われており概ね良好である。		
⑧働き方改革の趣旨を理解し、教育活動の充実・向上を目指す	勤務時間を意識し、短い時間で教育の目標を達成し、成果を上げる取り組みを進める。	教育の質の向上を目指し、生徒や生徒を育む家庭の視点に立ち、仕事のやり方や見直しを図り、勤務時間の効果的配分に取り組む。	A	今年度は勤務時間の改善を意識した勤務が見られた。今後も仕事の工夫や見直しを進めていきたい。	A	・残業時間を減らすことや年次有給休暇の取得について取り組んでほしい。